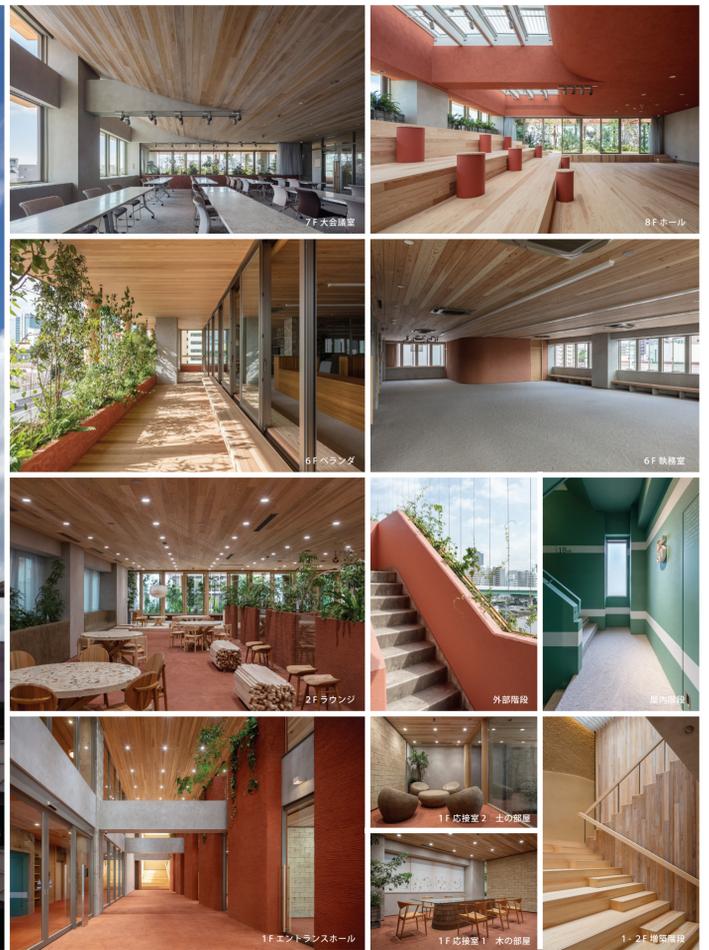


GOOD CYCLE BUILDING 001

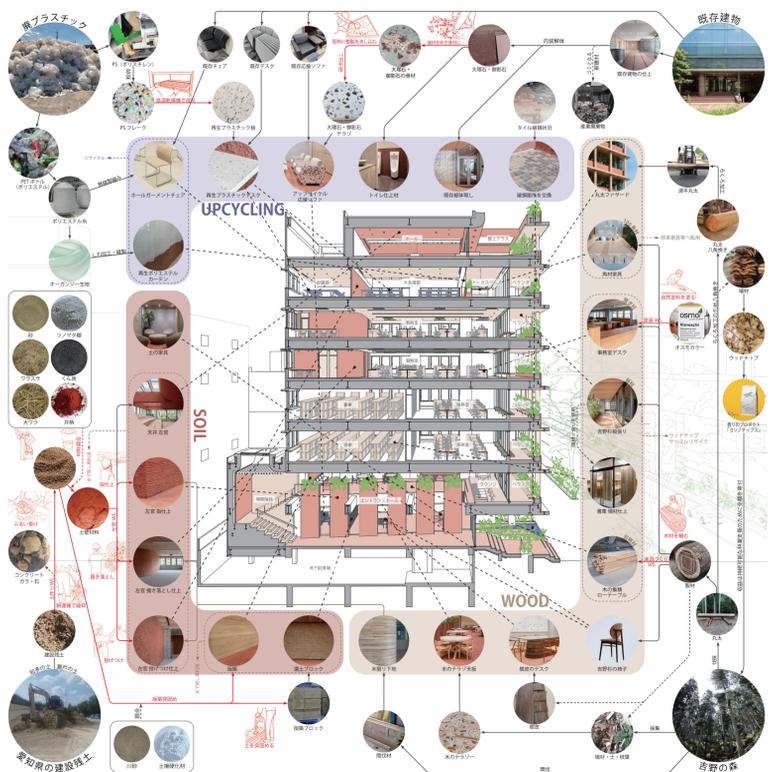
浅沼組名古屋支店改修PJ

GOOD CYCLE BUILDING is an office that contributes to management and business by creating a good cycle for people and the earth in an era where it is not necessary to have an office.



都市における「循環」の中に建築を位置づける

建築はマテリアルフローの通過点、「材料貯蔵庫」としての側面を持つ。材料がアップサイクルされ使い続けられるには、自然素材は、人工素材とは分離できる形で、その後の転用可能性を最大化するように使用し、いずれは土に還るように用いることが重要である。人工材料については、既にあるもの特性を最大限生かすとともに、加工によって新たな素材に生まれ変わらせることも必要だ。本プロジェクトは、このような都市における新たなマテリアルフローの要として建築物を再構築するとともに、光や風、土や木、そして植物といった変化する自然と繋がるデライトフルな環境とすることで、人にも地球にもよい循環の中に建築を位置付け直す試みである。



光と風へのアクセシビリティを高める空間改変

1-2階エントランスホール

Before: 1階エントランス 東を見る

After: 1階エントランス 東を見る (奥にはトランプ付新設階段)

2階の床を一部撤去し吹き抜け

2階の床を一部撤去し吹き抜けとし、3つの応接室を隣接し、建設残土を再利用し吹き抜けの遺土ブロックで仕切られる。新設の階段室にトランプ付を設け、自然光を取り入れるとともに、排気室としての役割も担う。

7階大会議室

Before: 7階大会議室 西を見る

After: 7階大会議室 西を見る (奥にはトクススペース)

8階の床スラブを一部除去し、7階の天井を南に向かって高く

8階の床スラブを一部除去し、7階の天井を南に向かって高くし、南側のペランダに沿って500Lx以上と十分な明るさを確保できることがわかった。北側廊下も、随所に設けた開口と事務室側からの採光によって100Lx前後の照度が確保された。

3-6階執務室

Before: 6階執務室 東を見る (右奥が倉庫)

After: 6階執務室 東を見る

開閉可能な窓に変更し、明るく、風通しのよい執務空間とした

開閉可能な窓に変更し、明るく、風通しのよい執務空間とした。自然光が豊富にいきる場所に倉庫を配置。また、トイレをコアから分離し既存開口の断下下面するようし、執務室前との間仕切り壁をガラスパーティションとし、廊下を明るい空間とした。

8階ホール

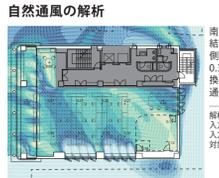
Before: 8階ホール 西を見る

After: 8階ホール 西を見る (奥には屋上テラス)

7階の天井を南に向かって高く

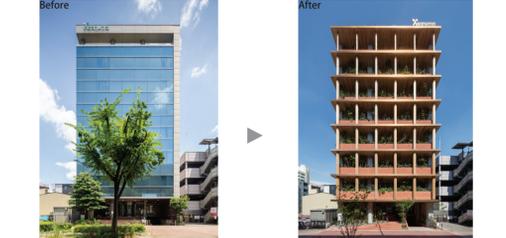
7階の天井を南に向かって高くし、南側のペランダに沿って500Lx以上と十分な明るさを確保できることがわかった。北側廊下も、随所に設けた開口と事務室側からの採光によって100Lx前後の照度が確保された。

執務室の通風・昼光の解析



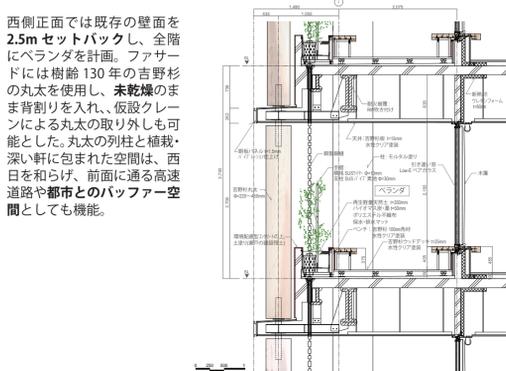
環境配慮型リニューアル

総合建設社・浅沼組が推進する「人間にも地球にもよい循環」をつくる『GOOD CYCLE BUILDING』の第一弾として、自社ビルである築30年を経過した名古屋支店を環境配慮型リニューアル。



浅沼組の自社ビルである築30年を経過した名古屋支店を改修したプロジェクト。敷地は認知名古屋市中村区名駅南3丁目1番1号(名古屋駅より車で7分程度)。敷地西側は道路を挟んで高速道路があり、それ以外の3面は建物と隣接している。元のビルの西正面は、ガラス張りであったが常時曇りていた。

自然とのインターフェース



バッシブ改修とその効果

断熱改修を行うとともに、窓面の後退や底の追加等によって日射遮蔽性能も改善し、大きく外皮性能を向上させた。加えて、土・木・植物といった自然物に囲まれる環境とすることで、建物居住者の快適性や健康に配慮し、WELL認証ゴールドを取得。その効果は本建物勤務者に対して実施中の健康増進効果の検証や、温熱環境の実測によっても確認された。



設備計画とその効果 | エネルギー消費量



木 | 持続可能な森からの木を / 転用可能性を高めた / 端材まで使い切る

奈良県吉野林業の木材をふんだんに採用。天井や床、ペランダのデッキ材などに用いられた吉野杉は、自然のデザインをそのまま活かした使い方をした。さらに、通常廃棄されてしまう木の皮や枝木の部材を使役して家具を製作し端材はプロダクト化した。建物の中で完結せずに、建築が地域の循環を生むということも実現できた。

持続可能な管理をしている吉野の森から

浅沼組と古くからつながりがあり、持続可能な管理をしている奈良県吉野の森からの木材を採用した。ファードの丸太には、浅沼組と同じ年月を経た樹齢130年の吉野杉を使用した。

都市の貯木場としてのファサード

製材時の端材を最小限にするため、1本のスギから採れる可能な限り大きな丸太を使用。木材乾燥を行わず、取り外し可能なようにファサードに取り付けられた。ここで自然乾燥させ、次の改修時には家具などに転用予定。

転用可能性を考慮したデザイン

端材を活用した家具・プロダクト

木のテラゾー天板
端材
ウッドチップ
薪のプロダクト

土 | 建設残土12tをアップサイクルする / ユーザー参加でつくる

今回のプロジェクトでは、浅沼組の同僚の現場から出た建設残土を使用し、内外の床・天井や家具といった様々な用途における土の活用法を試した。また、「社員たちが自ら塗る」ことで、建物に愛着を持ち、より大切に使い続けることを目指した。土壁の特徴は、調湿性に優れ、脱臭・断熱・保温の効果も期待できる。

土の活用法の試行

建設残土はガラリして産業廃棄物だった「ふるいかけ」行為によって再資源化可能

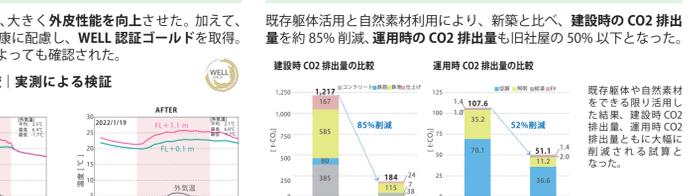
ユーザーのプロセス参加 / ユーザー参加による新しい表現

建設残土をガラリして産業廃棄物だった「ふるいかけ」行為によって再資源化可能

アップサイクル | 既存躯体・材料・都市のゴミを再資源化する

既存建物で使用されていた石材は、内装の面材としての再利用や、石膏で固めて面材とし、家具の材料に転用した。また、廃プラスチックを粉砕し熱して固めた面材と既存家具を組み合わせたリ、再生ビオエステル系で編まれたニットで既存家具を包むなど、都市で発生するゴミを資源として活用する試みも行った。

設備計画とその効果 | CO2排出量の評価



評価表

評価項目	設計者のデザイン意図	0	1	2	合計
01 健康性	自然素材の活用による健康増進効果の向上。また、断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。	○	○	○	3
02 調和性	自然素材の活用による自然との調和の向上。また、断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。	○	○	○	3
03 利便性	断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。また、断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。	○	○	○	3
04 完成度	断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。また、断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。	○	○	○	3
05 安全性	断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。また、断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。	○	○	○	3
06 環境性	断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。また、断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。	○	○	○	3
07 経済性	断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。また、断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。	○	○	○	3
08 持続性	断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。また、断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。	○	○	○	3
09 社会性	断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。また、断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。	○	○	○	3
10 資源性	断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。また、断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。	○	○	○	3
11 健康性	断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。また、断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。	○	○	○	3
12 資源性	断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。また、断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。	○	○	○	3
13 地域連携性	断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。また、断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。	○	○	○	3
14 社会性	断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。また、断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。	○	○	○	3
15 健康性	断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。また、断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。	○	○	○	3
16 CO2削減	断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。また、断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。	○	○	○	3
17 CO2削減	断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。また、断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。	○	○	○	3
18 健康性	断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。また、断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。	○	○	○	3
19 健康性	断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。また、断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。	○	○	○	3
20 LCC	断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。また、断熱性能の向上による快適な室内環境の確保。	○	○	○	3

建築概要

建物名称: 浅沼組名古屋支店
 主要用途: 事務所
 所在地: 愛知県名古屋市中村区名駅南3-3-44
 構造: 鉄骨造
 階数: 地下1階・地上8階
 最高高さ: 31m
 床面積: 2,279.64㎡
 竣工: 既存1991年
 改修: 2021年9月
 設計者: 川越久建築設計事務所+浅沼組
 施工者: 浅沼組